

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺茶の湯まちづくり事業				シート番号	008-089
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化	課 評価責任者(課長名)
						辻尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	文化芸術活動の振興	無
	2	事業開始年度	令和 元 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺茶の湯まちづくり条例			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成30年10月に「堺茶の湯まちづくり条例」が施行され、茶の湯の文化を振興し、市民の豊かな心の醸成と都市魅力の向上を図る。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	一般市民、事業者及び茶の湯関連団体			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	茶の湯の文化を振興し、市民の豊かな心の醸成と都市魅力の向上を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市内各所で開催する堺おもてなし茶会を実施することにより、市民が茶の湯を身近に感じられる環境づくりを行う。 堺市内茶道団体(裏千家淡交会堺支部、武者小路千家大阪官休会堺支部、表千家同門会大阪支部)の協力を得て実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
10	直接実施以外の主な支出先					

Ⅲ. 投入量

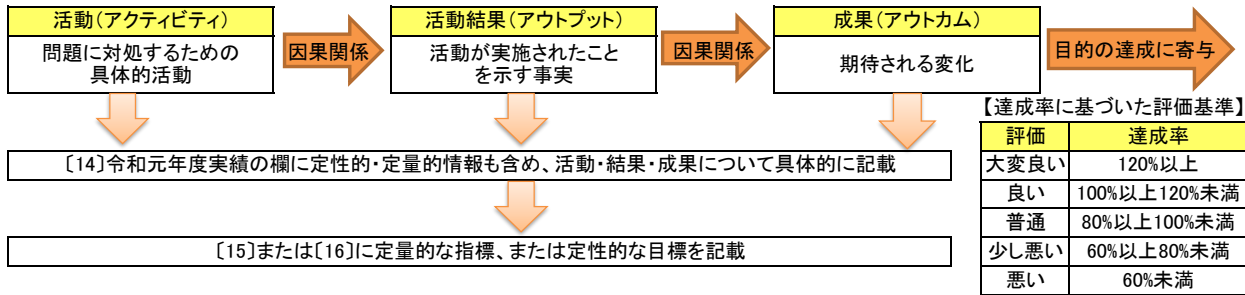
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費(a)	千円	0	0	0	0	3,079	1,515	430	
	主な事業費内訳	委託料	千円					1,082	440	
		備品購入費	千円					802	645	108
		旅費(費用弁償・普通旅費)	千円					407	44	
		謝礼金	千円					402	106	106
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他()	千円							
		一般財源	千円					3,079	1,515	430
	12	人件費(b)	千円		0		0	810	810	820
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	0	3,889	2,325	1,250	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺茶の湯まちづくり事業	シート番号	008-089
-------	-------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14 ○歴史文化を生かしたまちづくりシンポジウムを開催し、茶の湯文化を紹介した。 ○「堺茶の湯まちづくり条例」を広く周知し、誰もが気軽に親しめる環境づくりとして、堺おもてなし茶会を実施した。 ・第1回 堺おもてなし茶会 北区役所 ・第2回 堺おもてなし茶会 美原区役所 ・第3回 堺おもてなし茶会 本庁舎本館エントランス						
	15	茶会の実施回数	回		平成29年度	平成30年度	令和元年度
				目標値			3
				実績値			3
				達成率			100%
			評価				良い
	算出方法・設定根拠など		堺茶の湯まちづくり条例に基づく、市内各所での茶会の開催回数				
	16	茶会の参加人数	人		平成29年度	平成30年度	令和元年度
				目標値			270
				実績値			191
			達成率			71%	
		評価				少し悪い	
算出方法・設定根拠など		茶会における市民の参加人数					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	開催回数	回			3
	②	上記①にかかる年間経費	千円			450
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			150,000
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	参加人数	人			191
	②	上記①にかかる年間経費	千円			340
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			1,780
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		堺おもてなし茶会について、目標とする3回を実施することはできた。実験的に広報さかいに掲載せずに実施した回もあり、参加人数は目標値を達成することはできなかったが、初めて体験いただく方も多く、気軽に茶の湯文化に親しむ機会を提供することができた。今後は、条例を広く周知するため、事前の広報を強化し、参加人数の増加をめざす。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	堺茶の湯まちづくり事業	シート番号	008-089
-------	-------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 茶の湯文化が息づくまちづくりを進めていくためには、継続した事業実施が必要であると考えため
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市民が茶の湯にふれる機会の減少
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 おもてなし茶会の実施として、必要最低限の謝礼金、消耗品の予算しか計上しておらず、また、今後新型コロナウイルス感染症対策で通常以上に費用が発生し、縮減できるものがない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 茶会実施の際は、消毒の徹底や人と人の距離の確保、参加人数の制限等、感染予防に必要な対策をとった実施内容とする。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他()	理由・説明 現在、三千家の協力のもとに実施しており、今後、大阪観光局とといった新たな主体との連携を図っていく。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 おもてなし茶会を継続実施していくとともに、教育、産業振興、観光部門と連携して、堺の茶の湯文化を発信していく。		